



# 小学部 教材紹介



自活支援部

# 教材①



## ねらい

★口の狭い容器をよく見て、手芸用の玉（大・小）を入れることができる。

## 使用方法

★1つの皿に手芸用の玉（大・小）を入れ、手で1つずつ、口の狭い容器に入れる。

## ポイント

- ・左手で、口の狭い容器をしっかりと持つ。
- ・口の狭い容器を見たり、手芸用の玉（大・小）を1つずつ入れたりするように声かけする。

# 教材②



## ねらい

★目と手を協応させて操作する。

★赤と青の色の見分けをする。

## 使用方法

★いろいろな大きさや形の洗濯バサミの付け外し。

★指示された色の洗濯バサミを取る。

## ポイント

・教材が動かないように押さえたり、利き手で洗濯バサミを持つように促したりする。

・洗濯バサミが取れたら「ちょうだい」と言って教師に手渡すように促す。

# 教材③

さんすう ぶんしょうもんだい①

月 日

①りんごが3こあります。お母さんが2こくれました。りんごは全部で何こですか？



しき

こたえ \_\_\_\_\_

②いぬが5ひきいます。1ひきが家にかえりました。のこりは何ひきですか？



しき

こたえ \_\_\_\_\_

③さくらんぼを5こたべました。そのあと、さらに2こたべました。たべたさくらんぼは何こですか？



しき

こたえ \_\_\_\_\_

④ねこが2ひきいます。あとから3ひききました。ねこは全部で何ひきですか？



しき

こたえ \_\_\_\_\_

⑤けんくんはおはじきを10こもっています。3こ友だちにあげました。のこりは何こですか？



しき

こたえ \_\_\_\_\_

# ねらい

## ★問題文を読んで立式する

### 使用方法

★問題文をよく読んで立式・計算させる。はじめは問題文のポイントとなる部分にマーカーを引く。

### ポイント

- ・ 加法と減法の文章題をバラバラに出題する。
- ・ 問題文を読み取ることを重視するため、計算も繰り上がりや繰り下がりはないものにする。定着してきたら徐々に計算の難易度を上げていく。

# 教材④

マジックテープ



スナップボタン



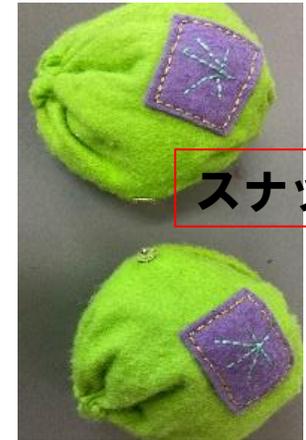
スナップボタン



ひも (リボン結び)



スナップボタン



ボタン



マジックテープ



マジックテープ



• 写真 1

## ねらい

【視覚－運動協応や随意運動の発達を促す】

1. 視覚－運動スキル力を養う
2. カード見本による構成力、言葉の指示による構成力を養う

## 使用方法

- ①正しくパーツを並べる。 ex)写真を提示する。曜日に着目させる。
- ②言葉の指示でパーツを選んでつなげる。(ボタンホック、マジックテープ、ボタン、リボン結び) ex)「つながるのは、どれとどれ(用途判断)」と問う。第2段階で用途と曜日を合わせて問う。

## ポイント

- ・ 児童に親しみのある「はらぺこあおむし」の絵本を基に、身近な漢字の理解を促しながら、目と手の協応を図る学習ができる。

# 教材⑤



# ねらい

## ★視覚－運動スキル

- ・目と手の協応を高め、日常生活や学校生活で必要なスキルを身につける。

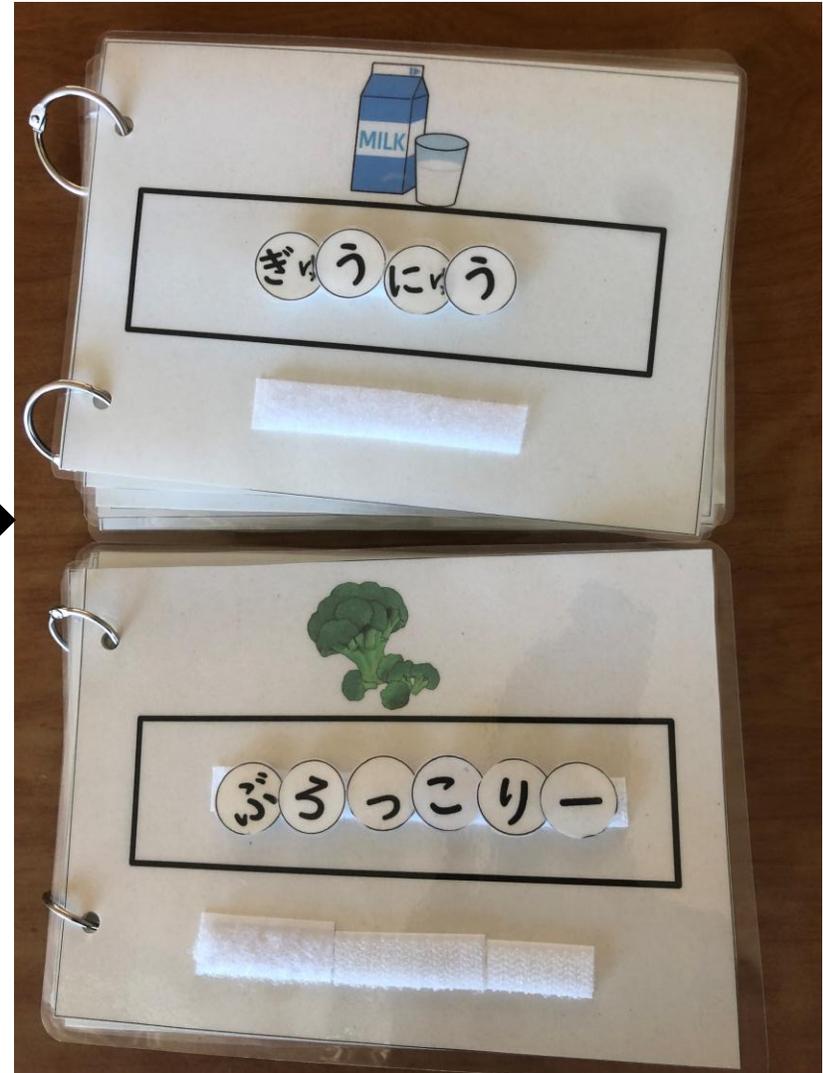
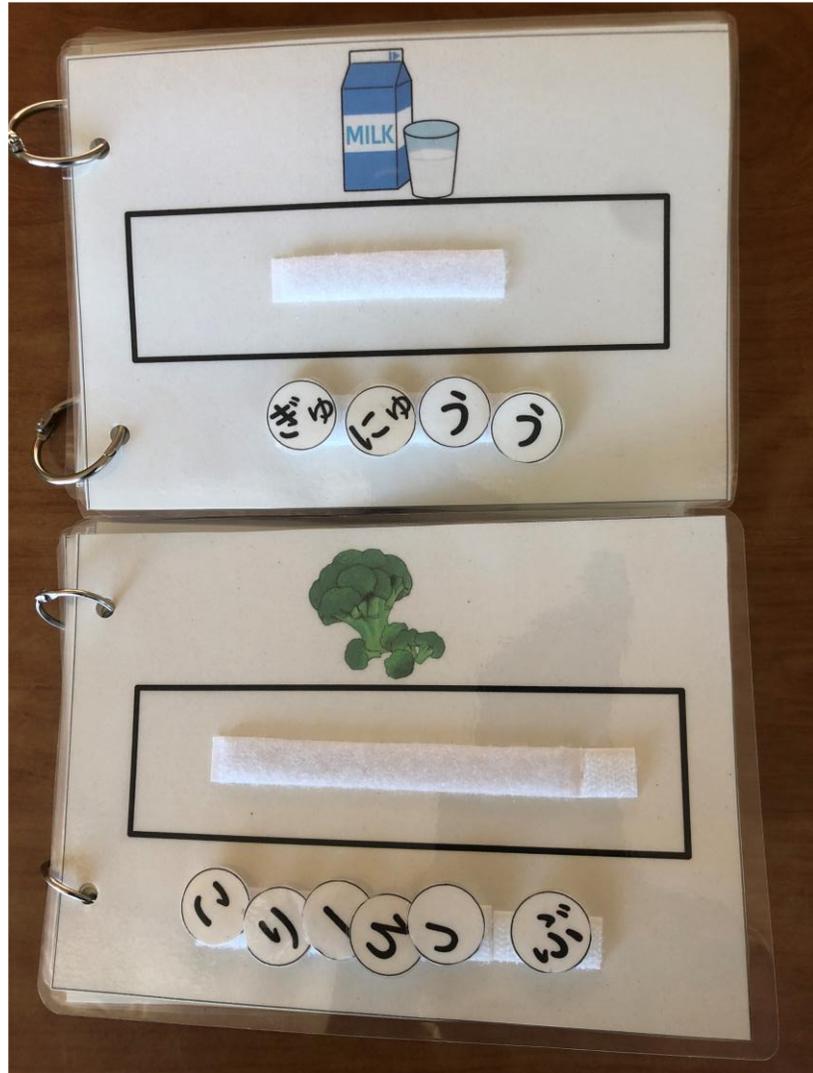
## 使用方法

★最初に見本を提示する。数種類の色のせんたくばさみを数十個渡す。見本に注目させつつ、親指と人差し指を使うように声かけしながら取り組ませる。

## ポイント

- ・活動の様子を見ながら、色を増やしたり、形を難しくしたり、せんたくばさみを固くしたりするなど、課題のレベルを上げていく。

# 教材⑥



# ねらい

## ★ひらがなの読み、促音・拗音の理解

### 使用方法

★ランダムに並んだひらがなを並び変えてから指差して読み上げる。

### ポイント

- ・拗音を一つのまとまりで読む（例「し」「ゅ」ではなく「しゅ」と読む）ことが課題の児童に使用する教材である。
- ・促音は読み上げないことの理解を促す。
- ・長音を入れるなど、使用する単語によって難易度を変えて作成することができる。

# 教材⑦

がつ にち ようび なまえ( )

いらすとをみて ( )のなかに こたえを かきましょう。

①  なにですか?  
( )

②  なにですか?  
( )

③  なにですか?  
( )

④  なにですか?  
( )

⑤  なにですか?  
( )

⑥  なにですか?  
( )

⑦  なにですか?  
( )

# ねらい

## ★ひらがなの読み書き

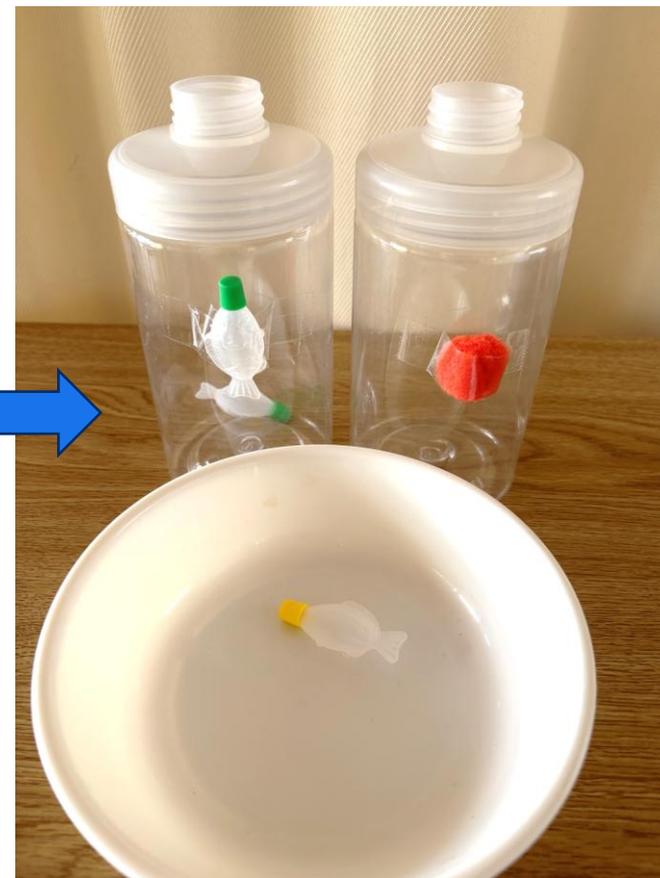
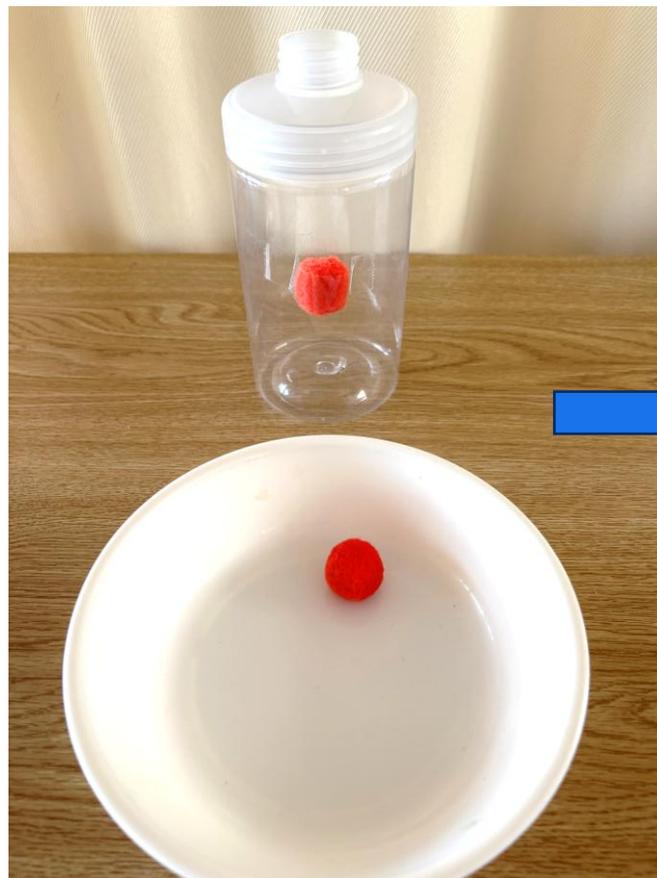
### 使用方法

★イラストを見て、ひらがなの単語を書く

### ポイント

- ・ 児童が好きな「はらぺこあおむし」のイラストを使用する。
- ・ ①イラストを見てそのものの名前を言う ②ひらがなを書く ③指差ししながら書いた文字を読む の順で取り組む。
- ・ わからないときは、絵本から探して書くように促す。

# 教材⑧



# ねらい

## ★実物を分類する

### 使用方法

★お皿に置かれた実物を、実物と同じ容器に分類する。

### ポイント

- ・はじめは、容器を1つずつ順番に置き、実物を容器に入れるように促す。
- ・容器を2つ、3つと増やしていく。実物と実物を貼った容器に注目するように「ボールどこ」などと声をかけながら分類できるように促す。

# 教材⑨

---



## ねらい

- ★手に持ったものを投げない。
- ★手元を注視することができる。

## 使用方法

- ★キャップを容器の穴に入れる。

## ポイント

- ★キャップを持たせ、「ここに入れるよ」と容器穴を指さし入れる動作を促す。
- ★投げてしまった場合には一緒に拾いに行き、もう一度取り組む。

# 教材⑩

からだのていせい

なまえ(

)

からだのていせい

なまえ(

)

## ねらい

★物の名前が分かる。

★ひらがな、カタカナが書ける。

★物の名前を聞いて濁音、半濁音、拗音が書ける。

## 使用方法

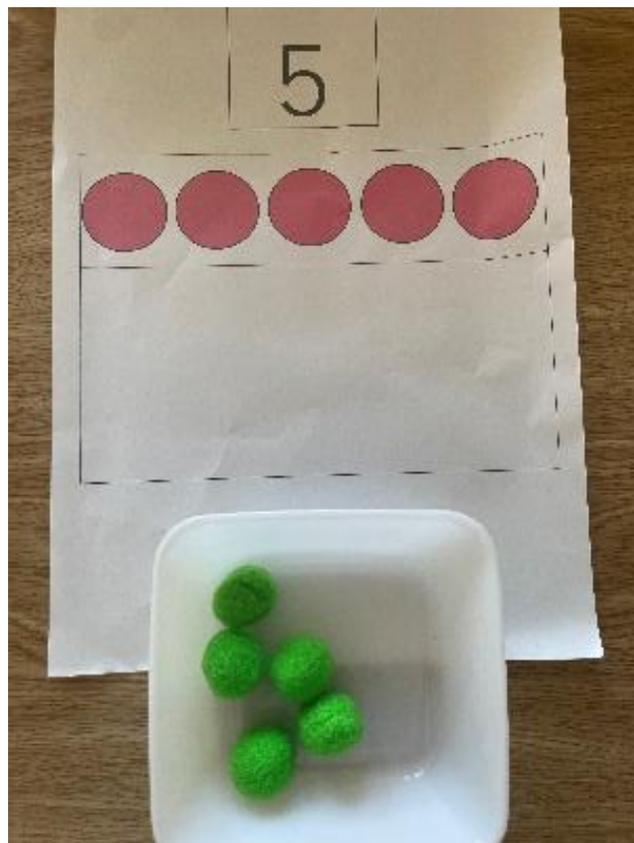
★イラストを見て物の名前を言い、ひらがなやカタカナで書く。

## ポイント

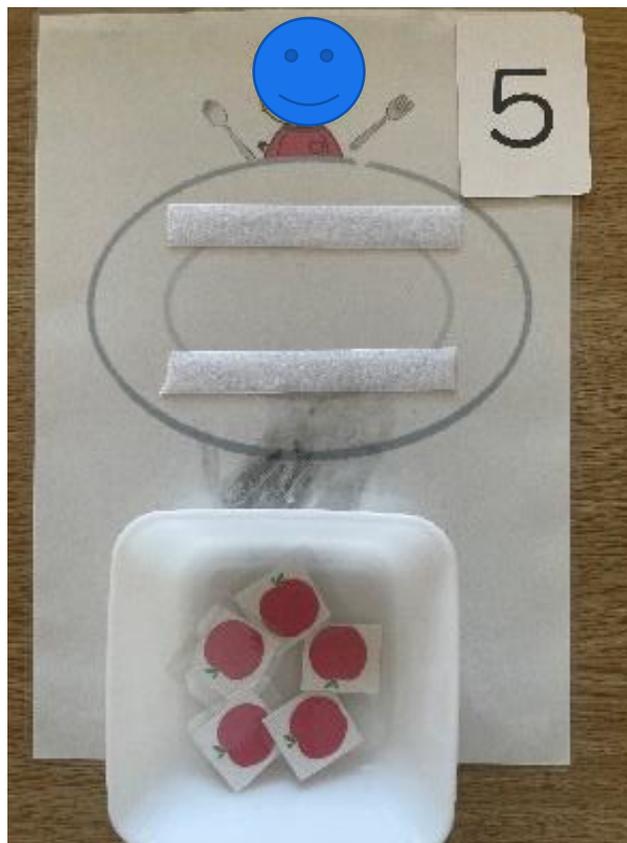
・濁音、半濁音、拗音は強調して一緒に言いながら、違いを確認しながら書かせる。

# 教材①①

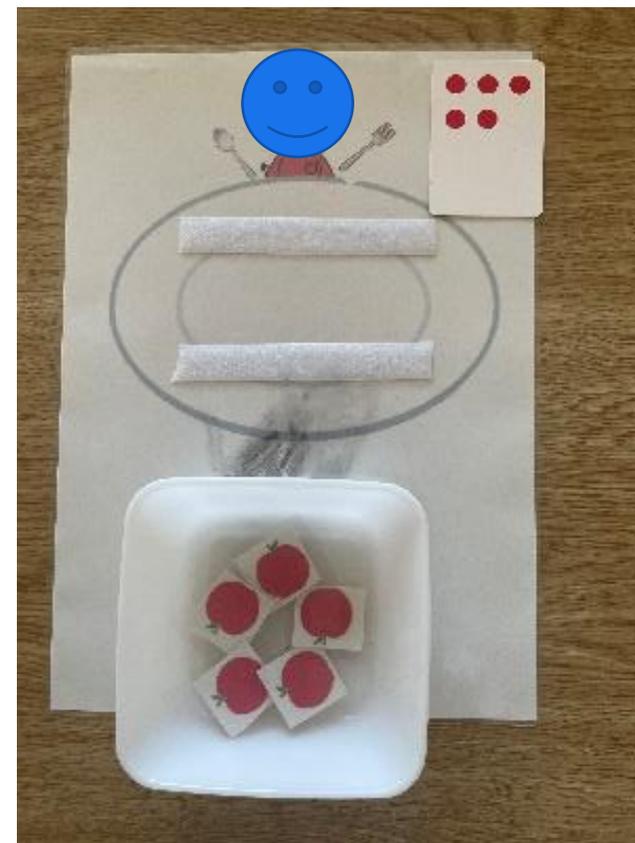
①



②



③



# ねらい

## ★数の概念の習得

### 使用方法

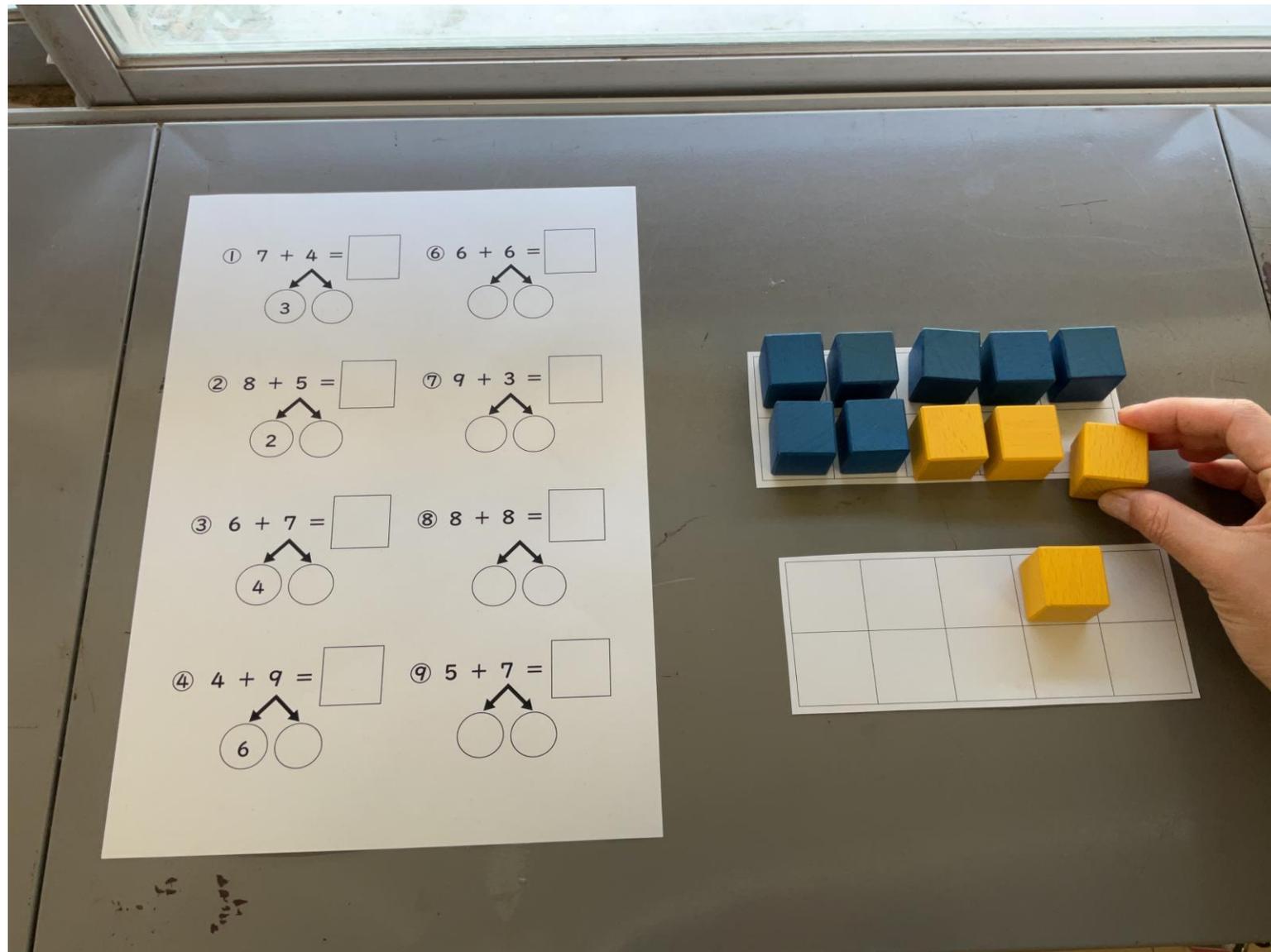


- ①の教材を使ってマッチングをしながら数の概念の習得を行う。
- ①ができてきたら②の教材を使い、色々な教材でもできるように促す。
- ②が難しければ③のヒントを出しながら取り組む。

### ポイント

- ・ ①②③の教材を繰り返し使って定着を図る。

# 教材 12



# ねらい

## ★繰り上がりのある足し算の理解

### 使用方法

★ 2枚のシートに置いた積み木を動かし、10のかたまりを作る。

残った積み木の数をサクランボ計算の空いた丸に書き入れる。

10のかたまりと、残った積み木の数で答えが分かる！

### ポイント

- ・ サクランボ計算でしている操作を視覚的にわかりやすくする。
- ・ マスと積み木をぴったりの大きさにして、10個ぴったり置きたい気持ちにさせる。

# 教材⑬



## ねらい

★絵を見て、合ったひらがなを並べることができる。

★ひらがなの形と読み方に気づくことができる。

## 使用方法

★絵を見て、その名前に合うひらがなカードを順に並べる。

## ポイント

- ・すでに知っている語彙（身近な持ち物）を題材にすることで、言葉のイメージと音が結びつきやすくする。
- ・カードを読み上げながら並べることで、音声と視覚の統合を図る。

# 教材⑭



## ねらい

- ★指先で押し込むことができる。
- ★手元を注視することができる。

## 使用方法

- ★カラフルな石を容器の穴に入れる。

## ポイント

- ★石を持たせ、「ここに入れるよ」と容器穴を指さし入れる動作を促す。
- ★まとめて持つのではなく、1つずつ持ち入れるように促す。

# 教材⑮



# ねらい

★絵や色のマッチング。

## 使用方法

- ・ケースの中の絵や色を見て同じものを探して入れる。

## ポイント

- ・手でできる場合は、お箸で応用する。
- ・ケースのふたを開け閉めすることで、指先の運動になる。

# 教材①6



# ねらい

## ★感覚の発達および感覚の統合を促す

### 使用方法

★目の前で見せたり、音を鳴らしたり、手を握らせたり、手のひらにこすりつけたりして、感覚の刺激を与える。

### ポイント

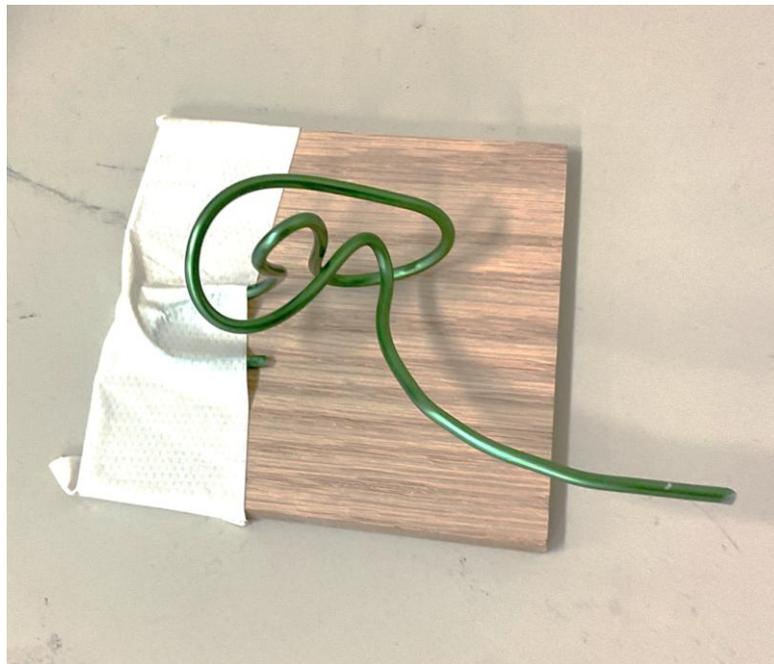
- ・ 感覚刺激を促す様々な感触の教材を扱う。

音の出るボール、トラックロープ、スクイーズ、ウォーターボール、たわし、鈴の入った毛糸のボール、緩衝材、鈴など

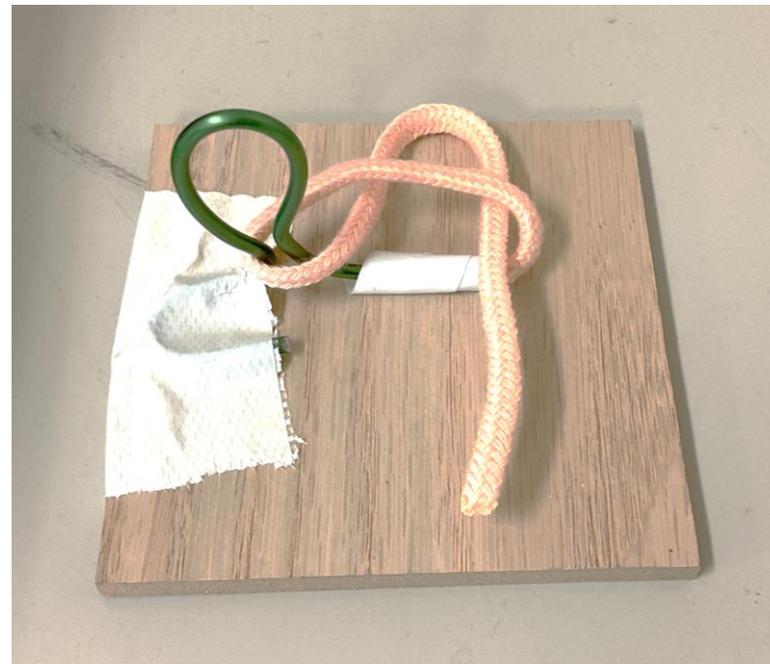
- ・ 視線や表情、手でにぎるなど、児童の反応のあったものは、教師が「やわらかいね」や「びっくりしたね」などと声かけして体験を言葉で伝え、児童の好みや関心を活動に生かす。

# 教材①7

A



B



# ねらい

## ★蝶々結びの練習

### 使用方法

★左の羽のふくらみに対して、右の紐を回してきて、できた紐の穴から、回してきた紐の途中を持ち、通すことで、蝶々結びのしくみを理解しながら練習する。

### ポイント

- ・左手で片方の羽の形を保持しにくい場合、練習をあきらめる児童が多いと思うが、これはその困難をなくし、反対側の紐の回し方やくぐらせ方を一人で練習できる。

# 教材⑱



# ねらい

## ★数の概念形成

### 使用方法

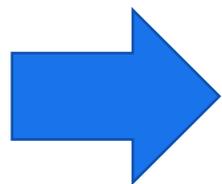
★指定された個数のフェルトボールをケースに入れる

### ポイント

- ・入れる個数を言葉で伝える（指でも数を示す）
- ・フェルトボールを入れながら数唱する（支援を徐々に減らす）
- ・数を表した指を入れた個数ずつ減らす（支援を徐々に減らす）
- ・黒い丸を隠すとレベルアップ

※簡単な課題から徐々に取り組める

# 教材①9



# ねらい

## ★ひらがなカードの並び替え、音読

### 使用方法

★イラストを見て、ひらがなカードを正しい順番に並び替える。

並び替えた後、指差ししながら読み上げる。

### ポイント

- ・慣れてくるにつれて文字数を増やしたり、濁音や半濁音などが出てくる言葉を選んだりして難易度を調整する。
- ・本人の興味のある題材を用いることで、学習に対する意欲を高める。